2018-2019

日本研究
GLCA/ACM
ジャパン・スタディ・プログラム
春の実習報告書

Japan Study at Waseda University
Cultural Internship Program Report
序文

GLCA/ACM ジャパン・スタディー・プログラムは56年間、アメリカから来た学生達の文化交流の成長に力を注いできました。毎年、学生たちは早稲田大学在学中のホームステイ、そこでお世話になるご家庭の日常生活、食事や日本語会話などを体験します。

そして、1カ月間、学生たちは春の実習を通じて、日本の社会から多様な事を学び成長します。その体験とは、実習でお世話になったホームステイのご家族からのおもてなし、学生たちがサポートを受けながらさせていただく実習や、グローバルな社会における彼らの立ち位置を理解しようとしたものであることなどです。これらの素晴らしい経験は社会への第一歩となり、彼らのこれから大きく広がる将来の可能性と繋がっていきます。

プログラムを代表して、すべてのホストファミリーの皆様、春の実習を受け入れてくださったスタッフの皆様に心より感謝いたします。この冊子を素晴らしい記念として、読んでいただければ幸いです。

ボーレル スタンレー
早稲田大学留学センター 客員教授
レジデント・ディレクター 2018－2019
ベロイト大学 物理学教授

The GLCA/ACM Japan Study Program has for 56 years enabled the cross-cultural growth of students from the United States in Japan. Each year participants engage in extended home stays, experiencing everyday family home life, food, and language.

Then, for a month, Japan Study students critically examine work life and practice from within the framework of cultural internships. It is from the hospitality of the host families and internship sites that the students are supported and challenged to understand their place in a global society. These remarkable experiences mark forward motion for the students in this world and set the stage for future open dialogue and communication.

On behalf of the Japan Study Program, I thank all host families and cultural internship staff for providing an invaluable framework for our students. I hope you enjoy this book of internship descriptions as a celebration of memories from this wonderful year.

Paul Stanley
Waseda University Center for International Education Visiting Professor
Resident Director, 2018-2019
Beloit College, Professor of Physics
<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>頁碼</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>序文（ポール・スタンレー）</td>
<td>ii</td>
</tr>
<tr>
<td>春の実習サイトの地図</td>
<td>iii</td>
</tr>
<tr>
<td>佐賀県多久市（2名）</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>佐賀県鹿島市（1名）</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>山梨県富士河口湖町（1名）</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>岡山県倉源寺（2名）</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td>島根県雲南市（5名）</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td>大阪府大東市（2名）</td>
<td>12</td>
</tr>
<tr>
<td>大阪府能勢町（2名）</td>
<td>14</td>
</tr>
<tr>
<td>福井県福井市（1名）</td>
<td>16</td>
</tr>
<tr>
<td>長野県飯山市（1名）</td>
<td>17</td>
</tr>
<tr>
<td>群馬県みなかみ町（2名）</td>
<td>18</td>
</tr>
<tr>
<td>群馬県前橋市（1名）</td>
<td>20</td>
</tr>
<tr>
<td>終わりに（長山道代）</td>
<td>21</td>
</tr>
</tbody>
</table>
2019 春の実習サイト

*各プログラムの開始年は、左横に西暦で記してあります。
春の実習で、どんなことをしましたか。
毎日新しいチャレンジに挑み、印象に残る思い出が
沢山できた。陶芸教室で自分の茶碗を作ったこと、
お寺で仏教の知識を学んだこと、発掘現場で見学
したこと、日本舞踊を踊ったこと、そして、漫才をした
こと等々は全て私が初めて体験したことだった。短い
時間で、こんな多い知識を勉強することができ、
幸せだった。

この実習から何を学びましたか。
今回の実習は、私の人生の中で貴重な体験になった
思う。実習の一ヶ月間で、たくさんの新しい事に
取り組んで、日本の文化と歴史と言葉を学んだ。この
実習のスケジュールは四つのパートがあった。一つ目
は市内見学だ。次に、児童センターと学校で実習を
した。最後の週は、日本の伝統文化を勉強した。

ホストファミリーとお世話になった人たちへの
メッセージをお願いします。
ホストファミリーの皆様と私のお世話をしてくれた
皆さん、本当にありがとうございました。お疲れ様
でした。多久市の生活は私の大事な経験になり、
皆様は、私の大切な家族になりました。今後も感謝の気
持ちを込めて、多久市の生活を頭に入れ、
頑張って生活して行こうと思います。

九州にいると感じたのはどんなときですか。
一番印象に残る思い出は学んだ知識ではなく、
多久市の熱情的な市民たちだった。中国で「此心安处
是吾乡」という古詩がある。「安心できるのは自分の故郷
だ」という意味だ。でも、多久は私にとっては異郷だが、
周りの人が優しく、暖かく接してくれたおかげで、まるで
故郷の様に感じることができ、とても安心して過ごせた。
今、多久は私の第二の故郷になったと思う。

氏名：ショウ ツアイ
Xiu Cai
大学：カラマズーカレッジ
ミシガン州
専攻：東アジア研究
出身：中国、北京市
春の実習で、どんなことをしましたか。
実習で色々なことを体験した。陶芸教室で焼き物を作ったり、多久の周りを観光したり、学校を見学したりして、生活から芸術まで様々なことを勉強した。ホストのパパとママも私を連れて、お寺や祭りを行った。

多くの素晴らしい経験の中で、一番印象に残る思い出は何ですか。
良い思い出は沢山あるけど、一番印象に残るのは小学校に行った最後の日に子供達から送別のプレゼントをもらった場面だ。子供達のノートは私にとって、ちょっと分かりにくいけど、一生懸命読んだ。そして、「将来、早稲田に入りたい」、「中国に行きたい」という話を聞いた時、本当に私と多久の子どもの未来が繋がっていると思う感じがした。

氏名：シンルイ ファング
Xinrui Huang
大学：ケニョン大学
オハイオ州
専攻：日本研究、数学
出身：中国、江蘇省

「九州」にいると感じたのはどんなときですか。
九州は食べ物で有名なところだから、美味しい料理を食べた時はいつも「流石九州」と思った。ホストのお姉さんと一緒に摘んだ新鮮なイチゴ、パーティーで食べたカキ、美味しいちゃんぽん、色々九州独特な風味を味わった。

ホストファミリーとお世話になった人たちへのメッセージをお願いします。
色々お世話になりありがとうございます。一ヶ月は短いけど、多久と多久の人達とのご縁はとっても不思議なご縁と思います。この一ヶ月間の経験を大切にして、前に進みたいですね。
2月2日～3月2日
2019年
佐賀県鹿島市

春の実習でどんなことをしましたか。
この春の実習で、私は幸姫酒造で酒造りを見習い
しました。毎日朝から杜氏について、米をいろいろな
作業を通して最終的に酒にするプロセスを体験しま
した。時々外国人のお客様がいらっしゃったので、通訳
を担当することもありました。

この実習から何を学びましたか。
酒造りの作業について実際に働きながら学びました。
日本酒は麹、酒母との米で並行発酵によって作るという
お酒の理論的な知識も杜氏から教えてもらいました。
そして、いい酒を作るための共同作業と蔵人の先輩達
からチームワークの重要性も学びました。

日本の伝統的な仕事はどうでしたか。
今まで体験したこともない仕事でした。効率と品質を
上げるためにいろいろな作業を現代化したと思います
けど、やはり昔からの知識と経験がないとできない仕事
だと思います。

一緒に仕事をしてくださいました方々へのメッセージを
お願いします。
短い間でしたがお世話になりました。とても楽しい仕事
場でした！アイスはおいしいかった！
春の実習で、どんなことをしましたか。
春の実習の間、こども未来図書館で実習しました。
こども未来で皆さんと話して、日本語練習しました。
アクティビティのじゅんびして、子供達と遊びました。
図書館では、本を片付けまして、小さい子供に本を読みました。
一週間ぐらいはいくえんに行ってアメリカとモンタナについて発表しました。英語で歌をうたってゲームしました。

多くの素晴らしい経験の中で、一番印象に残る思い出は何ですか。
毎日仕事で皆さんと話してアクティビティのじゅんびをしました。
最後一週間半ぐらいいっぱいにおひな祭りの発表のじゅんびをしてました。
いつも笑ってました、いつも楽しかったです。発表会の時、最後じゅんびして、発表をしました。発表会で踊りました。
私たちも楽しみましたが、子供達が一番楽しかったと思います。
皆さんもとてもうれしかった、とてもいい思い出です。

富士河口湖町の魅力を教えてください。
富士河口湖町はとてもきれいな町です。
毎日富士山が見えるし、湖があるし、神社もあるし、たくさんのすばらしい所行けます。そして、親切な人がすごく多いです。

お世話になった人達へのメッセージをお願いします。
富士河口湖町で私の経験はとても楽しかったです。みなさんにいつもやさしくて、日本語の練習させて下さりありがとうございました。
ホストファミリーと遊ぶのはいつも楽しかったです。仕事もたのもしかったです。いつも夕食を食べさせてくれてありがとう、毎日みんなさんとの話すのはおもしろかったです。
2月3日～3月3日

2002年

岡山県曹源寺

この実習から何を学びましたか。
座禅について学びました。他にもたくさん学びました。
座禅の時に、考えないように座ることも学びました。

「大変だな」と思ったことはどんなことですか。
曹源寺では肉を食べません。肉が食べたかったので
大変でした。また暖房がないのでとても寒かったです。
大接心の時にあまり食べられてなくて、また毎晩寝るのは
4時間だけだったので、元気ができませんでした。毎日
12時間の座禅はたいへんでした。

曹源寺で好きな場所はどこですか。
曹源寺の近くにたくさん山があります。毎日山で散歩
しました。お経を唱えるのがすきでした。

お寺の生活で一番難しいところはどこですか。
大接心です。この7日間は睡眠4時間で座禅12時間
でした。

一番びっくりしたこと、驚いたことは何ですか。
大接心の時に、老師様は警策でみんなをたたきました。
とてもびっくりしました。

曹源寺の人たちへのメッセージをお願いします。
みなさん、大変お世話になりました。お寺の生活は大変な
のにみんなは助けてくれました。どうもありがとうございました。

氏名：オウェン エゴルフ
Owen Egolf
大学：コーネルカレッジ
アイオワ州
専攻：コンピューター
サイエンス
出身：アイオワ州
春実習で、どんなことをしましたか。
曹源寺でお寺の生活を体験した。

この実習から何を学びましたか。
禅というものを体験した。禅は一つの修行でもあり、一つの生き様でもある。禅の修行は坐禅だけではなく、生活の毎瞬間に禅になる。禅の修行で外物を認識し、外物にとらわれないように工夫し、本当の自分に戻る。そして、集中力を鍛錬し、自我を捨て、何れ自分の仏性が覚醒する。一番大事なのかは焦らないことだ。結果は追求するものではなく、自然に出てくるものだ。ただ修行に集中すればいい。古人の智慧信じて、自ら体験するのは大事だ。

お寺の生活で一番難しいところはどこですか。
一番難しいのは朝起きる時間は早かったということだった。特訓の時は結構睡眠不足と感じていた。後は禅堂で眠るのはとても寒かった。水道水はお湯がなかったので、顔や手を洗った時は大変だった。

曹源寺で好きな場所はどこですか。
山の上の池は綺麗だと思う。

曹源寺の人たちへのメッセージをお願いします。
この度は大変ありがとうございました。皆から多くのものを学んで、いい体験になりました。迷惑をかけたところがあって、申し訳ございませんでした。

氏名：ジャチェン リュー
Jiachen Liu
大学：オーバリン大学
オハイオ州
専攻：神経科学
出身：中国、江蘇省
日本の学校の印象はどうでしたか。
教科書によると、日本の子どもたちは遊ぶ時間が少なく、疲れていた子どもたちを想像していました。しかし、雲南省の子どもたちは、活動を楽しみながら学んでいました。先生との関係が親しくて、それに、昔の道具で祖先の雲南省について知るようになると思います。
イメージを見直すことができて、色んなアイデンティティが受け入れる暖かい雰囲気を経験できて嬉しかったです。

多くの素晴らしい経験の中で、一番印象に残る思い出は何ですか。
ホストファミリーの兄弟と一緒に学校や、スポーツの試合で車に乗る時に、歌ったことです。田舎で道の角を曲がりながら声を出すのは、私の家族でよくやったもので生き生きと思い出されました。この再体験は、日本人とアメリカ人両方が味わっている子どもたちの経験だと思います。

一番驚いたことは何ですか。
ホストファミリーの車の歌でも、教室の活動でも、子供たちは、外国語で積極的に参加して、びっくりしました。日本はあまり他の国の人と交流がないように感じられたけど、英会話の活動で、毎回、質問が多数あって、若者は本当に外国のこと興味があって、嬉しかったです。

ホストファミリーとお世話になった人たちへのメッセージをお願いします。
小山さん、だんだん工房さん、いろいろお世話になり、ありがとうございました。松江や、日本料理の店の訪問などで雲南省を知り、良かったです。
須山さん、社会の話しや遊びで、忘れられない思い出が心に残りました。ありがとうございました。
日本の学校の印象はどうですか。
私は、アメリカで学校にいかないので、家でホームスクールをしました。日本の学校は少し厳しく大変そうに感じました。でも楽しく学ぶ機会もあり、先生は子どもに考えさせ、子どもたちもみなよく勉強しますが、むずかしいこともあったと思います。子どもたちは、元気でたくさんしつもんがあったのでうれしかったです。

多くの素晴らしい経験の中で、一番印象に残る思い出は何ですか。
たくさん印象に残る思い出がありましたが、一番は知らない人と会って話した事です。松江の美術館で知らない男の人が「どこから来たのですか」、と話しかけてきて、一時間ぐらい美術についてを話して、分からない事や漢字を説明してくださいました。次の週も、大東町の神社の祭で隣りに座った知らないおばあちゃんとたくさん話しました。

氏名：エスレン リンセイ
Ethren Lindsay
大学：ローレンス大学
ウィスコンシン州
専攻：言語学
出身：テネシー州

ホストファミリーとお世話になった人達へのメッセージをお願いします。
私のホストファミリーは、つうかがわるく、ちがうファミリーになりました。それでも、最初のファミリーの人にはあえてよかったです。私がホストしてくれた小山さんとはたくさん話をしていて、休みの日には様々な場所につけけてくれました。わからないことがあると、いろいろ説明してくれました。私はたくさん質問をして学びました。小山さんは本当のファミリーのようにになりました。とてもすばらしい経験でした。小山さん、本当にありがとうございました。

一番びっくりしたこと、驚いたことは何かですか。
学校訪問の時に、トランスジェンダーと留学生のことで、とても融通をして下さったことです。雲南市の人たちもいろいろ質問がありましたが、問題はありませんでした。また、トランスジェンダーの日本人と知り合えてびっくりしましたが、話をすると機会があってとてもよかったのです。
日本の学校の印象はどうでしたか。
私が学校で過ごした1ヶ月間は本当に素晴らしいものでした。校長先生をはじめ、その他のすべての教員の方々やスタッフの皆様、お世話になりました。ありがとうございます。学校の子供たちとの授業はとても楽しかったです。みんな優しく、かわいく、元気でした。体には気をつけ、そしていつかまたみんなと会える日を楽しみにしています。

ホストファミリーとお世話をになった人たちへのメッセージをお願いします。
ホストファミリーと過ごすというのは初めてのことだったので、はじめはとても緊張しました。ホストファミリーの神庭さん一家は、7人家族と猫が3匹と犬が1匹が一緒に暮らしていて、まさに大家族でした。彼らはみんな優しく、とても面白い人たちで、この3週間は笑いっぱなしでした。

ホストファミリーとは鳥根美術館、足立美術館に行ったり、一緒にバドミントンの練習をし、試合にも参加したりしました。結局全ての試合に負けていましたが、本当に楽しい時間でした。

この3週間、朝食と夕食はホストファミリーと、昼食は学校で子供達と食べていました。東京や、アメリカでの暮らしと違ったのは、普段午後6時くらいには夕食を食べるのでですが、ここではだいたい午後8時くらいの夕食で、また毎週一度は外食しました。これもまた1つの新しい生活スタイルの体験でした。ここでの生活で、神庭さん一家が私のホストファミリーになってくれたことはとても幸運なことだったと思います。神庭さん一家には感謝してもしきれません。お世話になりました、本当にありがとうございました。
日本の学校の印象はどうでしたか。
全ての学校で学生は笑顔で本当に元気でした。
休みになる時、学生は私と遊びたがって
いました。学生は私に昔の日本のゲームを教えて
くれました。そうじする方法とか昼ごはんの出し方
がわからない時、学生はいつも手伝って
くれました。学生が親切で元気だったことをとても
うれしく思います。とても感動しました。

多くの素晴らしい経験の中で一番印象に残る思
い出は何ですか。
松江フォーゲル公園に行った時です。公園でたくさん
かわいい鳥がいました。例えば、ちょうネクタイ
を着るペンギンです。そのペンギンは散歩をして
いました。楽しかったです。

氏名：アマンダ・テナント
Amanda Tennant
大学：オーバリン大学
オハイオ州
専攻：東アジア研究、英文学、
教育学
出身：ウィスコンシン州

ホストファミリーとお世話になった人たちへのメッセージをお願いします。
ありがとうございますと言いたいです。私が最初に雲南市に到着した時、ホストファミリー
と暮らすのは初めてなので少し心配でした。でも、皆様はやさしかったです。一緒にたくさん
楽しい活動をしてたくさん幸せな思い出を作りました。病気になった時、皆様は本当
に助けてくれました。皆様はやさしくて私にたくさん休んでと言ってくれました。今でも、
いつも雲南市のことをよく考えます。
春の実習で、どんなことをしましたか。
日本人の学生が毎日の授業を見学することで、様々な国の教育制度や文化の違いを学ぶことができます。島根県は豊かな歴史的・文化的遺産のある場所で、ここでは伝統文化へ宗教そして歴史について多くを学びました。創作舞台「天守物語」と日本で千年余りわたって受け継がれてきた伝統的製鉄法「たたら製鉄」を見ました。

この実習から何を学びましたか。
私は実際に子供たちが大好きというわけではない。中国の一人っ子政策のために、兄弟姉妹がいなくて、東京でのホームステイもお母さんと私だけでした。今回の経験は私にとって非常にめずらしいことです。子供と仲良くなるのが得意な人になったと思います。

日本の学校の印象はどうでしたか。
先生と生徒と一緒に給食をした経験は面白かったです。アメリカや中国でこんな事をしていません。教師と学生の関係を良くなることができると思います。ほとんどの子供たちはとても外向的です。言葉の壁がなくても、彼らは英語のコミュニケーションのやる気があって、これは非常に称賛に値するものだと思います。

氏名：エンジェル・ジャン
大学：コロラドカレッジ
専攻：アジア研究
出身：中国、広東省

ホストファミリーとお世話になった人たちへのメッセージをお願いします。
一ヶ月間私の世話をしてくれたホームステイと毎日学校に行って出会った人たち、本当にありがとうございました。ここで会った人たちはみんな私にはとても素晴らしい人たちです。私は今回の経験を一生涯忘れることはないと思います。また雲南省に戻ってくる機会があることを願っています。
春の実習で、どんなことをしましたか？
インターンとしてアクロスという大阪府の大東市にある
生涯学習センターで実習しました。そのセンターで、
様々な活動とイベントを見学して、大阪の大東市のこと
を勉強しました。週に一回ぐらい大東市で街歩きをして、
大東市の文化と歴史も学びました。アクロス生涯学習セ
ンターで研修会を見に行ったり、時々研修会に参加して
みました。アクロスで色々なグループが集まるので、時期
のグループ活動を体験しました。例えば、塗り絵グループ
活動、合唱団活動、クラフトグループの活動も体験しま
した。グループ活動を体験する以外、アクロスの書類を
英訳して、整理しました。アクロス本部だけではなく、
大東市内の団体で活動をしました。大東市中央図書館、
大東市立四条小学校と30ホールというコミュニティ
センターでボランティアとして仕事をしました。

多くの素敵な経験の中で、一番印象に残る思い出
は何ですかか？
アクロスの社員の皆さんと一緒に体験したり、見学した
り、イベントに参加するのはすごくいい印象に残らまし
た。アクロスの皆さんはすごく優しくて、大阪府と大東市
のことを教えてくれました。面白い話がたくさんできてよ
かったと思います。アクロスの皆さんに
お世話になりました。

大阪弁で、どんな言葉を覚えたか。
東京でも「せえやなー」が日常会話で出てきました。
「ほんまに！」と「ほんまや！」も覚えました。大阪にいる
間に「あかん」も使うようになりました。

一緒に仕事をしてくださった方へのメッセージをお願いします。
大阪と大東市のことを紹介してくださって本当にありがとうございました。色々なことを紹介
してくださってありがとうございます。この一か月の思い出を大切にします。アクロスの会員
さんとホストファミリーの人たちにも、ありがたい気持ちを言葉うまく伝えられてなくて
すみません。また大阪市に会いに行きたいです！
春の実習でどんな事をしましたか。
私は大東市のアクロスへいきました。アクロスのじむしょでてつだいました。でも、ときどき大東市内を見学しました。私のいちばん好きな場所は野崎観音寺です。数日は小学校でお手伝いしました。こどもはすごく販売がでした！ちょっと笑いたいへんでした！でも、こどもたちというはたのしかったし、みんなとやさしかったです。

「大変だな」と思ったことはどんなことですか。
私はあまり日本語がうまくないので、ホストマザーは時々英語を話してくれました。そして私の日本語の勉強を手伝ってくれました。私のホストマザーにまたあいたいです。

一緒に仕事をしてくださった方々へのメッセージをお願いします。
大東市はとてもおもしろい市です。私は、今も日本語をまだがんばってべんきょうしています。アクロスのみなさんはやさしくて、私の日本語を手伝ってくださり、本当にありがとうございました。

関西へんで、どんなことばをおぼえましたか。
私のホストマザーはわたしに少し関西弁を教えました。「違う」は関西弁で「ちょう、ちょう」です。「ほんと」は関西弁で「ほんま」です。

氏名：メリンダ マードン
大学：オハイオウエスリアン大学
専攻：東アジア研究
出身：ミズーリ州
気に入った動物がありましたか。
私は ARK で世話をしたすべての動物が好きでした。
いせという一匹の犬が私と一緒散歩をするのが好き
になりました。いせは大きくても外にいて幸せ
でした。彼がそのような精力的な性格を持っているの
で彼がすぐに誰かに引き取れることを願っています。

「大変だな」と思ったことはどんなことですか。
インターンシップで一番大変だったのは天気でした。
2 月の初めにたくさん雪が降ったから、外で働くことは
難しかったです。
もう一つの課題はスタッフと話すことででした。私は
とても恥ずかしがり屋で、会話を始める時はいつも
緊張していました。私は日本語が上達するにつれて
会話能力も上がると思います。

どんなことにもワクワクしましたか。
毎日私は 2 時間犬を散歩させることでした。山の中
の景色はとても美しいので、天気が良かったときは
いつも興奮していました。ある日、ARK は 14 匹の
ダックスフントを受け取りました。休憩室は新しい犬で
いっぱいになり、私たちは毎日犬と昼食を
食べました。犬はとても親切で、私はいつもそれらを
見て興奮していました。

一緒にボランティアした人たちへのメッセージを
お願いします。
ボランティアの方々、私と一緒に働き、とても親切に
してていてありがとう。アークのボランティアは動物の
世話をすることに専念しています。私はボランティア
の献身を尊重します。
多くの素晴らしい経験の中で、一番印象に残る思い出は何ですか？
多分猫ハウスで初めて自分でトイレチェックをした時が、一番印象に残る思い出です。その前、私が会った猫はいたい初め会う人のことを怖がりますが、ルクという猫は大きい声で「ニャン」として、初めての時から親しくなりました。

気に入った動物がありましたか。
はい、たくさんありました。猫のペッパーちゃんと友達になりました。いつもペッパーの部屋に入ると、ペッパーは「ニャン、ニャン」と言って、私のひざに乗ろうとしました。ペッパーをかわいがるために、トイレを変更した間にトイレに入りました。とてもかわいかったです！

そして、はるまきちゃんは会って、初めて散歩した時に気軽に入りました。すごく利口な犬でした！はるまきちゃんと時間をすごす時は、いつもうれしかったです。

一番びっくりしたこと、驚いたことは何ですか？
一日にダックスがシェルターに10匹以上来た時、とてもびっくりしました！

一緒にボランティアした人達へのメッセージをお願いします。
全てのボランティアの人たちとARKのスタッフの人たちは本当に親切で我慢強かったと思います。私が分からないことは、説明して下さり、新しい仕事を根気よく教えて下さいました。私の日本語は遅くて言葉を間違った時もありましたが、私と話してくださり、どうもありがとうございました。
多分の晴らしい経験の中で、一番印象に残る思い出すなんですか。
もちろん仕事でたくさんの事を学ばせて頂きましたが、あまり日本で観光した事なかったので、福井の有名な観光スポットにたくさん連れて行って、忘れられない思い出でした。連れていてくださったスタッフさんにとても感謝しています。

どんなごとにワクワクしましたか。
予約が少なかった日で忙しくないと思いきや、新規のお客さんが7組ぐらい来て、いろいろな飲み物や単品料理を注文したことに対する忙しさでワクワクしました。ミスなしで全てお食事を出すことができ、嬉しかったです。

一緒に仕事をしてくださった方々へのメッセージをお願いします。
みなさんはとても優しく、丁寧にご指導をして下さいました。その優しさと丁寧さによって、自分も一生懸命頑張る気持ちが高まり、シフトが終わるつども皿洗いをやらせて頂きました。最初は色々覚えるのは大変でした。お酒の漢字が読めなかったり、お皿の位置がわからない時にスタッフ以外のパート、バイトや料理人の人にも優しく教えてくれました。いろんな人と話せてシフトも慣れて、忙しい日でもとても楽しかったです。

日本の文化の「おもてなし」はどうでしたか。
福井のフェニックスホテルの接客レベルはとても高いです。タイミングを見てお昼のお茶出しや食後のお茶を出すなど気遣いのある接客をすることが日本のおもてなしの文化です。アメリカや他の海外の国と比べて、そう言う細かい接客が凄いと思いました。
「雪の国」の印象はどうでしたか。
私が森の家にいた最初の日は、雪があまり降りませんでした。しかし、翌日から一週間ほど雪が降りました。雪が多かったです。私は私よりも高かったです。スノーシューのない場所を歩くのは困難でした。でも毎日が雪の結晶を照らしている夜はとても美しかったです。

どんなことにワクワクしましたか。
私は自然の中にいることが好きになりました。そして、私はしばらかな間隔から出て自然の中で過ごすことができたのです。私は森の家でインターンシップをして本当によかったです。毎日ワクワクしました。

「大変だな」と思ったことはどんなことですか。
たくさん雪が降ったので、歩道を歩くのは難しかったです。特に丘陵地では雪はとてもきれいでたので、それはそれの価値がありました。

一緒に仕事をしてくださいた方々へのメッセージをお願いします。
私は森の家でとても楽しかったです。スタッフはとてもフレンドリーでした。森の家はやるべきことがたくさんあって素晴らしい経験でした。私は夏に戻って、どんな森なのか見に行きたいです。経験ありがとうございました。

長野県飯山市
春の実習で、どんなことをしましたか。
旅館たにがわでは料理の説明、セッティング、そして出し方を習い、皆さんと一緒に働いていました。別邸 仙寿庵では、お客様の迎え（お着き）や布団敷きの仕方を習い、日々の仕事を顧みるとそれがメインだと感じました。毎日朝会に参加し、旅館たにがわと別邸 仙寿庵の歴史を深く教えてくれたこともあります。もちろん、これは一か月の仕事体験のただの一部に過ぎないです。でも、何よりも職場で家族の一人として受け入れられ、親切と優しさの意味を再び覚え、これからもきっと将来に続いていく繋がりができました。

この実習から何を学びましたか。
布団敷きや、待機の姿勢や、お食事処での料理の出し方を深く勉強することができました。お客様に対する対応のことも習いました。たとえば、料理の出しタイミングを考えるには、お客様が食事をするスピードや、お子様のご飯を食べさせているか、沢山の情報を含めて判断するのです。あるいは、つねにお客様の動きを把握することです。

日本の文化の「おもてなし」はどうでしたか。
おもてなしを言葉にするということは珍しいことだと感じました。

お世話をしてくれた人たちへのメッセージをお願いします。
不器用な私を暖かく受け入れてくれたありがとうございました。頑張りますので、これからもよろしくお願いいたします。
春の実習でどんなことをしましたか。
旅館でいろいろなことを習いました。座り方や、料理についての説明、丁寧な言葉、布団の敷き方を習ったり、本当にたくさんのことを学びました。松本さんと一緒にお菓子を部屋に置いたことは楽しくて大切な思い出です。

お世話になった人たちへのメッセージをお願いします。
仙寿庵のみなさん、私の残したメッセージを読んでいただけましたか。日本語のまちがいがあったらごめんなさい。
私は、みなさんに心から感謝しています。みなさんにお世話になりました。最初、私は多くのことができませんでした。みなさんはとてもがまん強くまって下さいました。仙寿庵でいい体験をさせていただき、ありがとうございます。

「たにがわ」のみなさんお元気ですか。日本文化やおもてなし、旅館のマナー、料理の説明など教えて下さりありがとうございます。心から感謝しています。もうみなさんは私の家族のようでした。みなさんと知り合えて嬉しかったです。そしていろいろなおいしいものをごちそうになりました。いつもお世話ありがとうございます。篠原さんとアーロンといっしょに行ったのはとても楽しい思い出です。みなさんがこれからも幸せにお仕事されることを願っています。

日本の文化のおもてなしはどうでしたか。
日本のおもてなしはまじめで奥の深いものです。それから日本人の心がよくわかると思います。

氏名：ジャニーサ
ドッドソン
Janessa Dodson
大学：アーロム大学
インディアナ州
専攻：日本研究

一番びっくりしたこと驚いたことは何ですか。
仙寿庵で従業員たちはみなさん大変プロフェッショナルです。尊敬します。
春の実習で、どんなことをしましたか？
私は、春の実習で群馬県前橋市のJAZZ RUGというジャズ喫茶店で一ヶ月間働きました。毎日、朝から店内の掃除をしたり、食材を調達したりしました。そして、ウェートレスとして接客もしました。アルバイトの経験がなかったので、最初はすごく緊張しました。でも、ホストファミリーの純子さんやマスター、常連のお客さんたちはとても優しく接してくれました。

この実習から何を学びましたか。
この実習から、日本の接客業の「おもてなし」という文化を学びました。お客様がどんなことを望んでいるのか考えて行動することが大切だと感じました。
また、「ジャズ喫茶」という独特の文化を体験しました。私は音楽好きですが、これまであまりジャズを聞いたことがありませんでした。しかしこの実習を通して、ジャズの素晴らしいことを感じました。JAZZ RUGで毎月二回のジャムセッションや毎月一回のライブで、演奏者のパフォーマンスを観て、みんなの音楽に対しての情熱を感じました。そして、音楽で人と人が繋がることができると感じました。そして、ジャムセッションで私もジャズを歌うことができ、本当に楽しかったです！

日本のジャズの印象はどうでしたか。
JAZZ RUGで、みんなアメリカや南米の曲を楽しみながら演奏して、言葉や国境を越えて、音楽で伝えうることや通じるものがあると感じました。

一緒に仕事をしてくださった方々へのメッセージをお願いします。
純子さんとマスター、大変お世話になりました！大学での体験や東京での生活と違った経験を通して、とても視野が広がりました。また、様々な年代の方と友達になったことができ、素晴らしい思い出になりました。私も少し成長できた気がします。この一ヶ月間色々教えてくれてありがとうございました！
終わりに

春の実習は、毎年早稲田大学の留学を終えた学生たちにとって留学中の最も楽しかった思い出の一つと言われています。今年も、多くの皆様のご協力とご支援に支えられて学生たちが、大変素晴らしい経験をさせていただきました。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

近年の大学教育には、大学内の教室における「学び」と同様に注目される、大学の外で行われる留学やインターンシップ（実習）があります。いずれも、学生たちは大学の教室で教科書を中心に教員から学んだ事を、実際の社会において観察したり、実験したり、具体的な作業をします。実習で留学生たちは、教室で学び東京のホームステイの皆様と練習した日本語を、実習先の様々な場面で試すことになります。また、日本の社会的文化的な習慣や、高齢化社会、少子化社会などの問題点を、実社会にて観察し、それらを咀嚼しようとします。それらの「学び」は、学校、旅館、ホテル、市や町の観光課、市民館、お寺、生涯学習センター、ホームステイなどあらゆる場所において滞在期間中ずっと起きていると言っても過言ではないかと思います。

これらの「学び」は、多くの皆様のご協力が無くしては得られないものです。学生たちを正式に受け入れてくれた団体、企業、個人の皆様はもちろんのこと、お世話くださったホームステイの皆様、学生を何かの機会にお招きくださった方々、皆様のご協力無くしてこのプログラムは継続することは不可能です。学生たちが、お世話になっているにも関わらず記念冊子が手元に届いていない方々がいらっしゃるようでしたら、どうかご連絡ください。お世話になった全ての皆様に私どものせめぎもの感謝の気持ちとしてお送りしたいと思います。

今後とも皆様のご理解、ご協力をどうかよろしくお願いいたします。
早稲田大学 国際部
GLCA/ACM ジャパン・スタディ・プログラム
プログラム・コーディネーター

学生は以下の質問から自分の答えたいものを選択されました。またプログラム個々の質問もいくつか設定しました。

• どんなことをしましたか。
• この実習から何を学びましたか。
• 多くの素晴らしい経験の中で、一番印象に残る思い出は何ですか。
• その1ヶ月を過ごして、どんなふうに自分が成長したと思いますか。
• 一番びっくりしたこと、驚いたことは何ですか。
• どんなことにワクワクしましたか。
• 「大変だな」と思ったことはどんなことですか。

編集/発行スタッフ：丸山カレン

| 21 |